

鳥取こども学園 学園だより

第 3 号

平成10年 6 月 1 日

○発行

鳥取市立川町 5 丁目 417 番地

鳥取こども学園後援会

電話 (0857) 22-4206

○振込口座

郵便振替 01490-9-9106

題字 尾崎梯之助



信仰と希望と愛と

社会福祉法人鳥取こども学園

理事長 尾崎 良一

「この世の最大の不幸は、貧しさや病ではありません。誰からも自分が必要とされていないと感じることです」ノーベル平和賞を受賞したカトリック修道女、人間愛の体現者マザー・テレサの言葉である。このメッセージには、人間の絶望がどこに由来するかについての深い認識がある。同時に人間の希望はどこから生まれるかを教えている。

この世では誰ひとり、自分だけの力で生きていくものはいない。もろもろの力に助けられて、生かされ生きている。人間の幸福は人と人が互いに認め合い、助け合い、つながって生きていくことにある。

現在の福祉は、かつての肉体的苦痛（病気）、金銭的苦痛（貧困）から解放されるという問題以上に、心の寂しさから解放されるのが大きな問題になりつつある。マザー・テレサの言葉の中には福祉の本質が示唆されている。それは「愛の分かち合い」である。

世紀末の現在、大きな秩序が均衡を失い、さまざまな枠組みは崩れて、世界全体が行き先を失って漂流している。物や量や

効率を追い求める文明の限界が明らかになった今、人間とは何かを定義し直し、これまで切り捨てられてきた人間の祈り、希望、幸福感などをもう一度考えることが求められている。

社会福祉法人鳥取こども学園は一九〇六（明治三十九）年に創設されて以来、一貫した理念で運営されている。キリスト教精神である。聖書は人間にとって「信仰と希望と愛」が生きる糧であり、そこに人間の幸福、人間の平和があると説いている。

子どもたちが希望にあふれ、自分自身の力で困難を克服し、りっぱに自己実現できるようバックアップするのが私たちに与えられた責務である。そのためには愛と共感の世界を子どもたちと一緒に形成しなければならぬ。それは向かい合って対峙する姿ではなく、共に同じ方向に歩み出す姿勢が大事である。

鳥取こども学園は「児童養護施設」「保育所」「情緒障害児短期治療施設」「自立援助ホーム」「地域交流・OB会館」を運営する社会福祉法人であるが、二十一世紀には、福祉・医療・教育の広い領域にまたがる「児童

福祉センター」や「子育て支援総合センター」への転換、「地域ボランティア拠点施設」への変容などが求められる。今後、地域の人たちの参加と連帯の中で、ご助言、ご教示を受けながら事業を推進していきたい。

また、児童福祉施設は、多くの人たちと諸団体などの浄財、措置費制度など国、県、市の公的援助を基盤にして運営されている。従って、公的責任は重い。現状の公開、情報の開示は義務である。すべての財務諸表等を感謝の気持ちと共に公表して、関係の皆さんのご指導、ご支援を仰ぎながら、公正、厳正な法人運営に努めていきたい。

社会福祉法人も規制緩和による自由競争の時代に突入する。施設間競争（特に保育所など）で留意することは、単なる経済的合理主義、機能主義、効率主義偏重に陥ることなく、福祉の本質を見極めたケアの質的競争でなければならぬことである。温もりとか楽しさとか美しさが盛り込まれた優しい心の競合、愛の契約（テストメント）でなければならぬ。

祈りの果実は信仰である

信仰の果実は愛である

愛の果実は奉仕である

奉仕の果実は平和である

—— マザー・テレサ ——

一九九七年度 事業報告及び 今年度の事業計画

《法人本部》

鳥取こども学園は、二〇〇六年には創立百周年を迎える。私たちは、創立百周年に向けて一九九七年度を初年度とする「第二次五か年計画」として、次のとおり目標を設定し、第一歩を踏み出した。

A 「子どもの最善の利益」を目指して

- ① 民間キリスト教社会事業の原点に立ち返ること。

- ② 児童福祉法改正、児童福祉改革の先頭に立つこと。

- ③ 児童養護施設・情短施設・自立援助ホーム・保育所・地域交流ホームの有機的一体化と子どもの人権擁護、地域子育て支援の積極的展開。

- ④ 「子どもの最善の利益」のためにも一層のチームワーク処遇を図ること。

B 法人独自財政基盤の確立を図ること。

- ① 一〇三三万・一万〇〇の「鳥取こども学園後援会」の組織化。

- ② 鳥取こども学園OB会の組織化。

- ③ 「鳥取こども学園だより」の定期

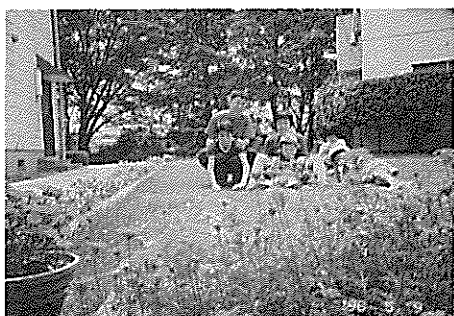
C 「鳥取養育研究所」の設立と子育て支援ネットワークの展開。

D 昨年度を振り返って今年度つけ加えるべき事項

- ① 児童養護施設の養護形態に関しては、

地域に点在する夫婦同居型、または少なくとも職員同居型のグループホームを指向したい。

- ② 「養育研究所」ともタイアップして、昨年度手がけた「虐待防止センター」の組織化を推進したい。



中庭にて

1997年度各施設の月別利用状況及び1998年5月1日付入所状況

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1998年 5月1日付
児童養護施設	45	37	37	37	40	44	42	41	41	45	42	41	41	488	39
情短施設	30	20	21	21	18	19	19	20	22	23	23	23	24	253	29
入所通所	15	9	9	9	13	13	13	13	12	12	14	14	14	145	10
外来相談	実 人 員：175人 延 べ 人 員：1,645														
鳥取フレンド	12	10	10	10	11	10	11	11	11	11	10	9	10	124	12
保育所	150	150	152	154	154	155	155	156	161	161	162	161	162	1,883	145
子育て支援センター		延人数 一日平均	165 8	230 12	331 15	221 13	262 14	237 12	311 18	352 20	314 19	354 22	399 28	3,176 16	

行

事

〔学園関係〕

12月7日 餅つき大会…鳥取いなばライ

オンズクラブ

14日 昼食招待…太平洋五周年記念

14日 鳥取シンフォニック・ウィンズ定期演奏会招待（鳥取県民文化会館）

16日 鳥取県出版文化賞受賞式「鳥取こども学園九十年史」影井

21日 賞受賞（新日本海新聞社）学園クリスマス祝会

24日 学園クリスマス祝会

23日 ラーメン昼食プレゼント…丸

24日 ハラーメン屋台・藤原

クリスマスライブホームパーティ



鳥取こども学園創立九十年史

「愛は絶えることがない」

鳥取県出版文化賞

(影井賞)を受賞!

本学園の「九十年史」が出版文化賞を受賞し、一九九七年十二月十六日、新日本海新聞社から尾崎良一理事長に賞状と盾が手渡された。

また、今年一月二十九日、ワシントンホテルで、西尾邑次鳥取県知事をはじめ六十名の出席者により祝賀会が開催された。



本部会計決算書

(収入)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
補助金収入	17,544,000	17,291,495	△ 252,505
寄付金収入	7,160,000	7,411,305	251,305
雑 収 入	8,893,000	8,911,126	18,126
合 計	33,597,000	33,613,926	16,926

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
事務費支出	8,630,000	8,251,396	△ 378,604
元利償還金	4,785,000	4,784,150	△ 850
繰入金支出	19,420,000	20,220,000	794,000
積立金支出	756,000	300,000	△ 456,000
合 計	33,597,000	33,555,546	△ 41,454

歳入歳出差引残金 ￥58,380 - は次年度へ繰り越す。

(注) 事務支出には退職給与金を含む。

《児童養護施設》

平成八年度末(平成九年三月一日)の措置児童は、未満児三人、年少児四人を含む四五人の定員一杯であった。高卒者八名、家庭復帰者三名、計十一名の退所があり、希望館からの高一措置変更二名と新規入所一名があり、平成九年度は、三十七名でスタートした。保護者の経費負担可能な高一年齢児童五名と就労訓練中の四名を希望館に残すことによって、久々に空きを作ったのスタートとなった。

平成九年度の退所は、七月に一名、八月に二名、九月に一名、十二月に三名、二月に一名、三月に八名の計十六名であった。

これに対し、平成九年度中の入所は、四月に一名、七月に一名、八月に四名、十一月に一名、十二月に一名、一月に三名、三月に二名の計十三名であり、平成十年度は、新規入所四名を加えて計三十九名(内、未満児二、年少児六)でスタートすることになった。職員二十一名で対応している。



10年1月2日 新年OBすきやき大会

13日 学園創立記念日

18日 鳥取ライオンズ杯学園卓球大会：鳥取ライオンズクラブ

29日 鳥取こども学園九十年史『愛は絶えることがない』出版文化祝賀会

2月5、9日 児童福祉展(鳥取大丸)

3月1日 学園ひなまつりの会

12日 学園卒業生お別れ会

13日 希望館通所部門：卒業生を送る会

4月7日 希望館通所部門：茶道・桜の下で野点会

25日 本田ファミリーコンサート招待(鳥取県民文化会館)：鳥取実行委員会 竹内 功

5月1日 児童福祉週間：こいのぼり掲揚式(こどもの国)

10日 学園こども祭り



学園こども祭り



平成10年1月2日 すきやき会

鳥取こども学園同窓会のご案内

旧職員・OBの皆さん
かつて同じ金の飯を喰った仲間会いたくなくたり、
消息を知りたかったりする
ものです。盆と正月くらい
故郷で会えればよいと思ひ
ます。
そこで、毎年、盆の八月
十四日と正月の一月二日の
夕方六時半から、同窓会を
行うこととしました。
学園の地域交流ホームで懐
かしい顔に会えます。お気
軽にご参加下さい。

児童養護施設 施設会計決算書

(収入)				(支出)				(単位 円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額	科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額		
措置費収入	132,370,000	132,307,919	△ 62,081	事務費支出	102,945,000	103,208,180	263,180		
補助金収入	6,422,000	6,434,880	12,880	事業費支出	36,397,000	34,811,108	△1,585,892		
寄付金収入	850,000	860,640	10,640	引当金繰入	4,755,000	5,900,000	1,145,000		
雑 収 入	3,000,000	2,918,125	△ 81,875	合 計	144,097,000	143,919,288	△ 177,712		
繰入金収入	1,455,000	1,455,000	0						
合 計	144,097,000	143,976,564	△ 120,436						

歳入歳出差引残金 ￥57,276 - は次年度へ繰り越す。

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引残金 ￥57,276 - は次年度へ繰り越す。

《情短施設》

平成八年度末(平成九年三月一日)の入所措置児童は、二十五名であったが、義務教育終了児童が十四名のほり、平成九年度は、入所二十名でスタートすることになった。

しかし、その内、措置停止三名及び就労指導中の二名の退所予定者が含まれており、実質十五名のスタートとなった。

平成九年度中のあらたな入所は、五、八月に三人、十、十二月に四人、一、三月に三人、計十名で、その結果、平成十年度は、二十七名の暫定定員になった。

平成十年度は、児童福祉法の改正実施により、情短施設の年齢制限が引き上げられるとともに、特別育成費や就職支度金等も付くようになった。また従来、治療半ばで退所させざるを得なかった義務教育終了児童が継続・入所出来るようになり、平成十年度は当初から二十六名でスタートし、現在、二十九名の入所となっている。

従って、今年度、入・通所ともに定員一杯となることは確実で、現在、暫定定員の解消を鳥取県に申し入れている。

なお、外来相談は昨年度も多く、一、六四五件にものぼった。

15日 希望館通所部門・春の遠足
(八東町ボニー牧場)

16日 鳥取三洋フェスティバル招待
：コロケものまね天国
(鳥取県民文化会館)

27日 エンター姉妹デュオ・ピアノ
リサイタル招待(鳥取県民文化会館)：とっとり楽友協会

12月3日 特別養護老人ホーム白兎あす
なる訪問

〔みどり園関係〕

20日 クリスマス祝会

26日 もちつき大会(祖父母と一緒に)

10年1月14日 伝承遊び(祖父母と一緒に)

20日 地域子育て支援センター「育
児講座」：講師 鳥取みどり
園栄養士 竹内あけ美

28日 参観日(講演会)：講師 ガ
ンバ主宰 伊達季代子

2月1日 私立保育園保護者会スポーツ
大会(三洋電機スポーツセン
ター)

4日 交通安全教室(保護者会交通
安全部主催)

13日 修立小学校体験入学(年長児)

情短施設 施設会計決算書

(収入)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
措置費収入	132,980,000	133,595,858	615,858
補助金収入	6,500,000	6,468,170	△ 31,830
寄付金収入	2,302,000	2,335,120	33,120
雑 収 入	2,580,000	2,702,588	122,588
繰入金収入	1,000,000	1,000,000	0
合 計	144,362,000	146,101,736	1,739,736

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
事務費支出	121,298,000	121,035,726	△ 262,274
事業費支出	20,884,000	19,661,411	△1,222,589
引当金繰入	2,180,000	5,400,000	3,220,000
合 計	144,362,000	146,097,137	1,735,137

歳入歳出差引残金 ￥45,599 - は次年度へ繰り越す。



向かって左：学園 右：希望館のレジアス

公用車が

三台になりました

学園には従来、貨物用のボンゴしか公用車がありませんでしたが、この度、清水基金から二百二十万円の補助金と太田隆子さんから百万円の寄付金を得て、希望館に八人乗りのトヨタ・レジアスが購入されました。

また、長野オリンピックで使用されたトヨタ・レジアスが、トヨタレンタリース長野から学園に寄贈され、期せずして公用車が三台になりました。カッコよい車を得て、子どもたちも喜んでいきます。感謝です。

《保育所》

平成八年度の卒園児が二十二名と少なかったため、九年度は四月初より一〇〇%の充足率でスタートすることができた。又、五月より毎月三才未満児の入所があり、十一月には百六十一名となり、臨時保母を採用し、職員二十八名で保育に当たってきた。保育所鳥取みどり園も二〇〇〇(平成十二)年には創立五十周年の節目を迎える。一九五一(昭和二十八)年創立当時、戦後復興の端緒についた社会情勢の下で、予防的福祉としての先駆的役割を担って来た保育所も今やその役割を大きく変え、今回の児童福祉法改正で、措置から受益者負担へ、少子化対策の中心的役割を担う幅広い子育て支援事業の担い手として変身しようとしている。平成九年度からスタートした地域子育て支援センターも順調にその機能を発揮している。

その他エンゼルプランの特別事業を次の通り実施している。

- 一、低年齢児保育促進事業
- 二、障害児保育(聴覚障害)
- 三、開所時間延長促進事業
- 四、老人福祉施設等世代間交流事業

平成十年度も地域に開かれた保育園として、地域に愛され、信頼されるように「楽しい保育園」であるよう頑張りたい。



みどり園バザー

- 14 16日 作品展
- 14日 座談会(保護者会同推部主催)
- 19日 シルエット観劇(市民会館)
- 3月3日 ひなまつり
- 5日 平成10年度入所児説明会
- 12日 地域子育て支援センター「育児講座」講師 希望館館長 松田章義
- 13日 お別れ会
- 28日 第47回卒園式(卒園児33名)
- 4月1日 進級式
- 3日 第48回入園式
- 6日 お花見会
- 23日 春の親子遠足(おおちだに公園)保護者会総会
- 5月31日 みどり園バザー(保護者会主催)

保育所 施設会計決算書

(収入)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
措置費収入	108,393,530	108,493,740	100,210
補助金収入	35,148,527	35,210,026	61,499
寄付金収入	0	52,920	52,920
雑 収 入	1,434,790	1,447,692	12,902
合 計	144,976,847	145,204,378	227,531

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
事務費支出	116,067,526	116,356,548	289,022
事業費支出	18,022,069	18,015,102	△ 6,967
引当金繰入	10,887,252	10,832,728	△ 54,524
合 計	144,976,847	145,204,378	227,531

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

《自立援助ホーム》

平成九年度は、四月当初四名の入所があり、十名でスタートした。その後、五月に一名、七月に一名、九月に一名、十月に一名、三月に四名、計十二名の入所があり、退所は、五月に一名、八月に一名、十月に一名、一月に一名、二月に一名、三月に三名、計八名であった。

入所者十二名の内訳は、当園出身者は六名、県内養護施設出身者一名、県内障害児施設出身者一名(知的障害一、聾啞一)、県外児童養護施設出身者一名、一般家庭から一名であり、その内保護観察所から二名、家庭裁判所から二名が含まれている。

児童福祉法の改正により、平成十年四月一日から児童福祉法に正式に位置付けられることとなったことは、喜ばしい。今年度から、従来の分園型自活訓練ホームに付属した形での運営をやめ、山中夫妻によるグループホームとして運営したい。

児童福祉法改正により、大幅な財政的改善を期待していたが、現状ではそれ程の改善は期待出来ないようである。国、鳥取県及び鳥取市に大幅な改善を要望しているところである。引き続きご支援を賜りたい。

自立援助ホーム鳥取フレンド 施設会計収支決算書

(収入)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
補助金収入	2,453,000	2,453,000	0
寄付金収入	413,000	413,000	0
利用者負担金収入	2,465,000	2,452,100	△ 12,900
繰入金収入	1,455,000	1,455,000	0
雑 収 入	2,731,000	2,827,952	96,952
前年度繰越	346,000	346,070	70
合 計	9,863,000	9,947,122	84,122

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
事務費支出	5,149,000	5,260,890	111,890
事業費支出	4,714,000	4,565,820	△ 148,180
合 計	9,863,000	9,826,710	△ 36,290

歳入歳出差引残金 ￥120,412- は次年度へ繰り越す。

(注) 雑収入には家裁、保護観察所からの保護委託費を含む。

希望館の松田館長

全国情短協議会の会長に

厚生省で五月二十八・九日に開催された全国情緒障害児短期治療施設協議会の総会で、本学園希望館の松田章義館長が会長に選出された。このたびの児童福祉法の改正で、情緒施設の対象児の年齢制限が二十歳まで引き上げられたことなどにより、新しい課題が生まれている。新会長の今後の活躍が期待される。

また今年七月二十九・三十一日、鳥取こども学園希望館が担当施設として、鳥取市で全国情短施設職員研修会が開催される。多数の参加者で研究会が成功することを願っている。

すでに、本学園の藤野興一園長が全国児童養護施設協議会の中国ブロックの会長を務めており、期せずして全国情短施設協議会、中国地区児童養護施設協議会の会長及び事務局を、鳥取こども学園で担うことになり、学園の全国的役割は大きくなった。御支援を賜りたい。



前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、及び後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は下記のとおりです。心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄付者(1997.12.16~1998.5.31)

(敬称略)

[illegible]

物品寄付者(1997.12.16~1998.5.31)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
赤 山 善 男 秋 崎 る り 子 浅 井 慶 紀 遠 藤 藤 奥 田 和 男 小原流サークル連盟 海 藤 ひ と み 株式会社トヨタレン タ リ ー ス 長 野 草 刈 栄 黒 川 和 子 国際ソロプチミスト鳥取 小 谷 雅 代 山陰・夢みなと博覧会協会	山 陰 中 央 新 報 社 塩 見 克 則 資生堂社会福祉事業財団 新 日 本 海 新 聞 社 砂 沢 孝 子 センター事業団神田 高 槻 知 子 竹 中 工 務 店 田 中 酒 店 大協ダイヤモンド会 県立智頭農林高校 東 郷 湖 舟 鳥 取 警 察 署 鳥取県アイスクリーム協会	鳥取県醤油工業共同組合 鳥取県中小企業団体 中 央 会 親 睦 会 豊 福 孝 明 中川義肢製作所 中 村 愛 女 永 島 由 喜 子 日 本 鏡 も ち 組 合 林 敬 次 郎 原 田 幸 義 東 岡 都 子 福 永 裕 子 富士書店 花井 満 丸八ラーメン 藤原	森 江 満 理 子 山 田 瑶 子 山 本 秀 樹 横 山 憲 明 吉 田 勇 子 吉 野 展 子 (株)ビクトリア鳥取 湖山店 平川勝志 A コーポ鳥取山中靴店 県国家公務員労働組合 共 闘 会 議 松 山 は る 糸

鳥取こども学園後援会 平成9年度収支決算書

(収入) 自 H.9.4.1 至 H.10.3.31

(単位:円)

科 目	金 額			摘 要
	決算額	前年度	増 減(△)	
後 援 会 費	5,120,118	3,626,400	1,493,718	308件
雑 収 入	5,659	1,230	4,429	預金利息
前 期 繰 越 金	3,361,290	3,739,623	△378,333	8年度繰越
合 計	8,487,067	7,367,253	1,119,814	

(支出)

(単位:円)

本部会計繰入	1,000,000	3,881,972	△2,881,972	公用車購入助成(情短施設指定寄付)
フレンド運営費	1,455,000	50,000	1,405,000	自立援助ホーム人件費助成
役 務 費	73,965	0	73,965	郵便料、送金手数料負担
雑 費	120,750	73,991	46,759	機関紙“学園だより”印刷代1回分
合 計	2,649,715	4,005,963	△1,356,248	

※歳入歳出差引残金 ￥5,837,352 - は次年度へ繰越す。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入のお願い

鳥取こども学園の事業は、言うまでもなく「民間社会事業」です。「制度」も何もないところから出発した創立当初の困難を想い、民間社会事業の先駆性・献身性を受け継ぎたいと思います。公的な制度と資金だけでは到底足りません。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入をお願いします。

1. 「鳥取こども学園後援会」へご入会下さい。
2. 地域、職域でできるだけ友人・知人に呼びかけて下さい。
3. 個人でも団体でも、会社や法人でも加入出来ます。
4. 年会費は、個人1口3,000円、団体・法人1口10,000円で、1口以上何口でも結構です。

会費・寄付金は下記へ

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎良一

振 込 み 口 座：郵便振替 01490-9-9106

山陰合同銀行鳥取東支店 普通 2124157
鳥取銀行本店 普通 7645611